

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成20年・計画学研究発表会春大会)

小委員会名	自転車空間研究小委員会
小委員長	山中英生(徳島大学)
活動期間	平成20年 春大会 ~ 平成23年 春大会
委員会の活動趣旨	近年の環境問題を背景とした自転車の利用促進、増加傾向にある自転車関連事故、近年の道路交通法の改正など、自転車の利用空間への関心の高まりを契機として、新たな施策展開に向けた取り組みが進められている。しかしながら、自転車やその利用空間に関わる研究については、我が国では大きく遅れている現状にあり、これまで蓄積されてきた研究成果に加えて、空間設計や交通誘導のための基礎的な行動・挙動特性、多様な施策に対する利用者特性など、新たな施策展開に関連した科学的知見の体系化が急務となっている。そこで、こうした自転車空間に関する研究成果を共有し、知見を整理することで、実践的・実務的な成果につながる「自転車の利用空間のあり方」を工学的立場から提言することを目的として、研究小委員会を設立する。
組織概要 (分科会構成等)	平成19年秋大会に当研究小委員会の設置が認められ、その後平成20年1月に委員の公募を行った結果、大学、研究機関、NPO、コンサルタント分野から計32名の委員構成となっている。当面は委員会会合を通じて情報の共有をはかることを中心に活動を進める。具体的テーマ別の分科会等の活動開始は平成20年秋大会以降の予定である。委員会の基本的な役割は、関連する研究の科学的知見の体系化を踏むための各委員や国内外から収集された新たな施策などの関連情報を共有することにあることから、小委員会のホームページを開設し情報の蓄積・共有化を支援する。
平成19年計画学研究発表会・秋大会以降の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年秋大会：第1回委員会開催(場所：八戸工業大学、22名が参加)、4名の委員から話題提供があり、今後の研究の進め方や研究課題について議論した ・平成19年12月末：委員の公募を行い、新たに17名が加わり32名の構成となった ・平成20年5月：第2回委員会開催(20/32名出席、場所：共立女子大学)、構成メンバーの紹介と活動方針・体制に関する討議を行った。「ドイツ環境共生都市フライブルクのまちづくりと、自転車を利用した複合型サービス」と題した講演会の開催(講演者：マルティン＝マティアス・リュプケ氏(フライブルク市)、村上敦氏、主催：共立女子大学、土木学会自転車空間研究小委員会、コミュニティバイク研究会 後援・協力：NPO 法人駐輪・駐車場情報センター、NPO 法人日本サイクルラック協会、都市駐車場対策協議会、会場：共立女子大学 B101 教室、参加者 105 名)
今後の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年春大会：企画セッションを3つ、スペシャルセッションを1つ開催確定 ・第3回委員会を春大会時に開催予定 ・平成20年秋大会：企画セッション、スペシャルセッション、委員会を開催予定 ・平成20年度内にワンディセミナーを開催予定(場所、日時未定)
小委員会 HP	http://www.ipte.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/cs/ (開設予定)
その他・特記事項	